

心身障害防止のための胎児発育遅延に関する研究

議 事 録

日 時 : 昭和52年1月19日 午後1時~4時

場 所 : 東京, 湯島会館

出席者 昭和大 中山徹也 荒木日出之助 矢内原 巧 丸山正次 瀬尾文洋
神戸大 望月真人 森川 肇
九州大 久永幸生 荒川公秀 中野仁雄
東京大 木川源則 神保利春 佐野 亨
奈良医大 山口竜二
国立西埼玉 小島 修 渋江義朗
日本大 高橋 滋
浜松医大 五十嵐良雄
国立大蔵 堤 紀夫 鳥海達雄

1) 母体環境からみたSFDの診断基準に関する研究

司 会 中 山 徹 也

- (1) 母体各種ステロイドホルモンによるSFDの早期診断法に関する研究(矢内原 巧)
- (2) ヒト胎盤ラクトゲンからみたSFDの病態に関する基礎的考察(望月真人)
- (3) 発生因子別にみたSFD児の計測値に関する統計的考察およびSP1値と児体重との相関について(荒川公秀)

2) 胎児環境からみたSFDの診断基準に関する研究

司 会 木 川 源 則

- (1) 種々の臨床情報を用いた重回帰式による児体重推定について, SFDの母体尿中および血中 Estriolならびに血中hCS(佐野 亨)
- (2) 胎盤起原酵素, 特にHSAP予想曲線図による胎盤機能診断(山口竜二)
- (3) 妊娠中毒症におけるSFDに関する研究(小島 修)

3) SFDの発生原因並びに予後に関する研究

司 会 五 十 嵐 良 雄

- (1) UCGによる妊娠後期の心拍出量と新生児の出生体重とについての検討(高橋 滋)
- (2) SFD出生歴を有する小人症の治療に関する研究(五十嵐良雄)
- (3) ラットを用いたFGRの誘発実験とその胎盤の研究並びに満期産SFD児の身長/頭囲, 体重/頭囲の発育に関する研究(堤 紀夫)

以上の施設より各々分担課題について研究成果の発表があり, 討論が行われた。